

京田辺市議会だより

12月定例会

★ 未来に向け 熱く一般質問 ★
(議会本会議場)

平成30年度の決算審査

2～4面に掲載

議会報告会を開催します

日時：令和2年2月8日(土) 午後2時～4時

場所：三山木福祉会館 (三山木谷垣内2-1)
(電話：0774-62-0571)

内容に関するお問い合わせ：0774-64-1380(議会事務局)

日 程	会 議 等	掲載面
10月3・15・16・17・28日	決 算 特 別 委 員 会	2～4面
10月25日 11月18日	第 4 次 総 合 計 画 特 別 委 員 会	4面

12月定例会

日 程	会 議 等	掲載面
12月3日	本 会 議 (開会・議案上程等)	1面
12月9日	本 会 議 (一般質問) 16名	7～11面
12月10日		
12月11日		
12月16日	建 設 経 済 常 任 委 員 会	
12月17日	総 務 会 常 任 委 員 会	5・6面
12月18日	文 教 福 祉 会 常 任 委 員 会	
12月25日	本 会 議 (採決・閉会)	1・10・12面

人事案4件 適任・同意

12月定例会初日に市長から、人権擁護委員の任期満了に伴う後任委員に上村公則(うへむらきみのり)氏(65)・東古森(とうふるしん)氏(65)を推薦する諮問案が提出され、賛成全員で適任としました。任期は、委嘱発令日から3年です。

また、民生委員・児童委員を21年以上務められている寺本綾乃(てらもとあやの)氏(68)・興戸南鈴立(こうなんすだて)氏(72)・田辺勇田(たねいさ)氏(72)・森下慎吾(もりしたしんご)氏(75)・草内鐘鉦(くさうちかね)氏(75)を自治功労者に推薦する同意案が提案され、賛成全員で同意しました。

平成30年度決算 2件可決・7件認定

初日に、9月定例会で決算特別委員会に付託し、閉会中に審査が終了した2件の決算認定関連議案と7件の決算認定案について委員長から報告を受け、討論を行いました。

討論では、日本共産党京田辺市議会議員団から「一般会計」、「国民健康保険特別会計」、「介護保険特別会計」、「後期高齢者医療特別会計」、「水道事業会計」、「公共下水道事業会計」の6件に反対討論があり、採決の結果、反対討論があった6件は賛成多数で可決されました。その他3件は賛成全員で認定しました。

第4次総合計画特別 委員会付託議案・可決

9月定例会で第4次総合計画特別委員会に付託された議案第46号「第4次総合計画の基本構想を定めることについて」は、継続審査とされ閉会中に審査が終了しました。

議案8件可決 請願1件不採択

初日に市長から、「土採取事業規制に関する条例の全部改正について」や「道路線の認定について」などの議案6件が提案され、3日目に追加で「教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例の制定案」、「組織条例の一部改正案」の2件が提案され、それぞれ所管する常任委員会に付託し、審査することとしました。次に「ワールドマスタースゲームズ2021関西」の開催にあたり、ハンドボール競技会場となる本市でフレ大会を実施するための必要経費として実行委員会への事業補助金などを計上した補正予算案3件が提案され、審査することとしました。

最終日には、各常任委員会に付託した議案8件について、各委員長が審査報告を行い、議案第55号「自転車等駐車場条例の一部改正について」ほか3件に対し日本共産党京田辺市議会議員団から反対討論があり、採決の結果、賛成多数で可決されました。その他4件の議案について、無党派議員から議案第53号「土採取事業規制に関する条例の全部改正について」、

人事院勧告に伴う 議案3件可決

最終日に市長から、人事院勧告に基づく条例案2件と補正予算案が提案されました。「市議会の議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部改正」について日本共産党京田辺市議会議員団から反対討論があり、自民・新会から賛成討論がありました。採決の結果、「市議会の議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部改正」を賛成多数で、ほか1件を賛成全員で可決し、これに伴う「令和元年度一般会計

議員提出意見書案 2件可決・2件否決

最終日に、議員から意見書4件が提出され、「関西電力の金品受領問題の全容解明を求める意見書」、「高齢者の安全運転支援と移動手段の確保を求める意見書」を賛成全員で可決し、ほか2件は賛成少数で否決しました。(可決した意見書は11面に掲載)

第168号

2020年(令和2年)2月1日

発行 京田辺市議会

編集 広報編集特別委員会

〒610-0393

京田辺市田辺80番地

TEL 0774-64-1380

FAX 0774-63-4782

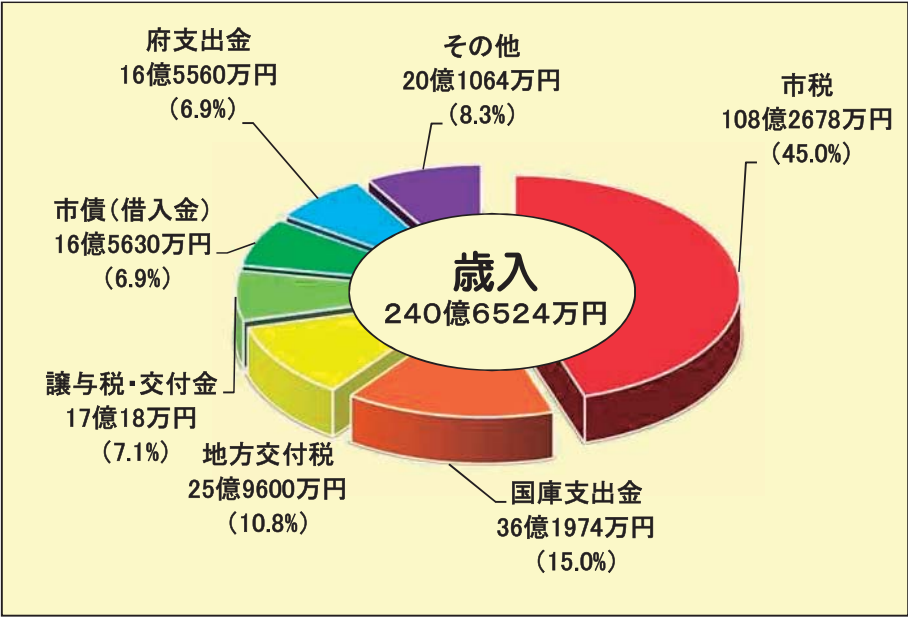
メール gikai@city.kyotanabe.lg.jp

京田辺市議会

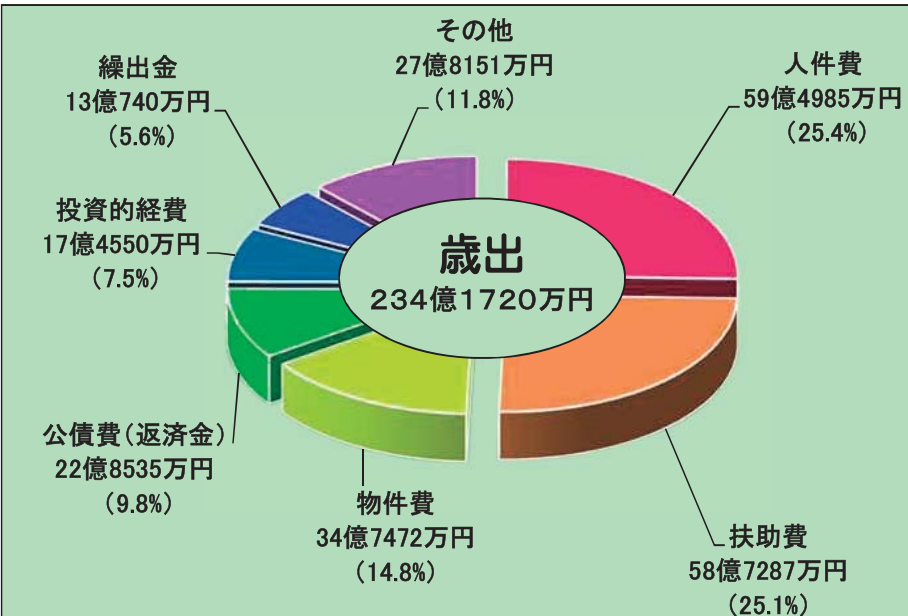
検索

平成 30 年度「市の家計簿」は

歳入		前年比
市 税	市民税・固定資産税・軽自動車税・市たばこ税・都市計画税などの市が徴収した税	101.9%
国庫支出金	国から市に支出される資金のうち、その使途が特定されているもの	102.8%
地方交付税	所得税・法人税・酒税などの国が徴収した税から財政力に応じて市に配分されるもの	103.3%
譲与税・交付金	消費税・自動車重量税・自動車取得税などの国が徴収した税から市に交付されるもの	100.6%
市 債	市が歳入の不足を補うために発行する債券で、会計年度を超えて債務を返済するもの	81.3%
府支出金	府から市に交付されるもの	105.4%
その他	過去の積立基金からの繰入金や、財産収入・使用料及び手数料など	66.1%



歳出		前年比
人 件 費	職員給与、地方公務員共済組合等負担金、退職金、委員等報酬、議員報酬手当など	104.7%
扶 助 費	社会保障制度の一環として、生活困窮者、児童、高齢者、心身障がい者等を援助するために要する経費	97.2%
物 件 費	賃金、旅費、役務費、委託料等消費的性質の経費	101.0%
公 債 費	地方債元利償還金及び一時借入金利子の支払いに要する経費(債務の返済金)	90.9%
投資的経費	道路・橋りょう、公園、学校、公営住宅の建設等社会資本の整備に要する経費であり、普通建設事業費、災害復旧事業費など	60.0%
繰 出 金	一般会計から各特別会計・地方公営企業会計などに対して支出される負担金など	59.3%
その他	公共用施設等の維持に要する経費や、法適用企業に対する負担金、さまざまな団体等への補助金、報償費、寄附金など	160.7%



主な予算である『一般会計』の収支内訳

入ったお金

使ったお金

会計別決算収支状況

会 計 区 分		歳 入	歳 出	差 引	繰越財源を除いた 実 質 収 支	
一 般 会 計		240 億 6524 万 1166 円	234 億 1719 万 5226 円	6 億 4804 万 5940 円	5 億 0836 万 1940 円	
特 別 会 計	松 井 財 産 区		1685 万 3880 円	1561 万 5735 円	123 万 8145 円	123 万 8145 円
	国 民 健 康 保 険		64 億 5336 万 6952 円	64 億 1397 万 3883 円	3939 万 3069 円	3939 万 3069 円
	休 日 応 急 診 療 所		2334 万 1504 円	2307 万 6808 円	26 万 4696 円	26 万 4696 円
	介 護 保 険	保 険 事 業 勘 定	44 億 6891 万 0830 円	43 億 8140 万 3857 円	8750 万 6973 円	8750 万 6973 円
		サ ー ビ ス 事 業 勘 定	2120 万 9707 円	642 万 5010 円	1478 万 4697 円	1478 万 4697 円
	後 期 高 齢 者 医 療		8 億 6266 万 0764 円	8 億 6133 万 1037 円	132 万 9727 円	132 万 9727 円
	計		359 億 1158 万 4803 円	351 億 1902 万 1556 円	7 億 9256 万 3247 円	6 億 5287 万 9247 円
水 道 事 業 会 計	収益的収支	15 億 7640 万 0052 円	15 億 3727 万 0035 円	3913 万 0017 円		
公 共 下 水 道 事 業 会 計	収益的収支	18 億 4381 万 1849 円	18 億 2001 万 2516 円	2379 万 9333 円		
農 業 集 落 排 水 事 業 会 計	収益的収支	8476 万 1253 円	8456 万 9507 円	19 万 1746 円		

決算特別委員会の審査報告

決算特別委員会（青木綱次郎委員長、久保典彦副委員長、秋月健輔、河田美穂、河本隆志、田原延行、橋本善之の各委員で計7名）は10月3日、15日、16日、17日、28日の5日間にかけて委員会を開催し、9月定例会で付託された平成30年度一般会計など9件の決算認定案等について審査を行いました。

審査は部局別に行い、最終日には各派による総括審査を行った後、決算認定案等をすべて認定・可決しました。主な質疑は次のとおりです。

財政状況は？

■財政調整基金

■ 災害等の臨時の出費に備え基金積み立てすべきでは。

（財政課長）平成30年度は1・8億円積み立てる工ができた。災害復旧に関しては国の補助金や臨時的な起債も可能であるので、さまざまな事業債を活用して備えるつもりである。

■臨時財政対策債

■ 年々増加していることについての認識は。

（財政課長）地方財政は制度改正により需要が増加している一方で、国の財政も厳しいため、普通交付税から振替えられたもので、一旦、地方自治体で借金し、その全額が後年度に国から措置される。残高が多くなるのは気になるが、きつちりと償還されている。

■市債

■ 投資的経費の状況と市債の発行理由を見ると、市債の発行を抑制しているように

感じる。市債発行が投資的経費の35%にとどまっており、他市平均の54%と比較してきわめて低い数字である。公債費の発行を抑える必要があると判断してきたのか。

（財政課長）公債費は後年度への負担になるので、可能な限り本市は借金しない方がよいと考えている。できるだけ交付税措置のある有利な起債を中心に行っているため、そのような面では他団体と比べて差が出てきていると考えてる。

■敬老事業

■ 敬老会の出席者が年々増えているように思うが、会場は対応できるのか。今後、どのような対応を予定しているか。

（高齢介護課長）70歳以上の高齢者の約1割の方が参加されている。今のところ、今後とも続けていく予定。

■ 敬老会の参加者の声は

どんなものがあるか。

（高齢介護課長）祝い事であるので感謝の声と、第2部の演芸が楽しめであると好評の声がある。

■民生委員・児童委員及び民生児童委員協議会事業

■ 民生委員が行う一人暮らし高齢者の見守りに関して「緊急医療情報キット配布事業」及び「熱中症対策啓発事業」の詳細は。

（社会福祉課長）民生委員の活動で、70歳以上の単身高齢者を対象として名前・住所・生年月日のほか病歴や処方薬などの医療情報を記入できるものを入れるカプセル型ケースを配布する事業である。カプセルは緊急時、救急隊に氏名等を自身で伝えられないときに利用するものである。また、熱中症対策啓発事業は、高齢者宅訪問時、首巻きタオル

ルなどを配布しながら熱中症を注意喚起するものである。

■高齢者在宅福祉事業

■ 高齢者生活支援ヘルパー派遣の利用者が5人だが、どのような理由か。

（高齢介護課長）介護認定されないが骨折など一時的に体が弱っており、生活が困難な方を対象に生活援助や身体介護も受けられる制度である。利用期間は3カ月間で手数料は1回2000円である。一時的利用なので前年度と比べれば3人増加である。

■普賢寺小学校活性化事業

■ 普賢寺小学校は小規模特認校制度で運営されているが、学校運営の現状は。

（学校教育課長）平成19年度から制度開始しており、当初は特認入学児童は少ない状態であったが、現在は半分を超

ツアー・オブ・ジャパン開催事業



■ 来場者数が目標（5万人）を達成できた要因は。

（企画政策部副部長）各方面に周知を図っているため、年々認知度が高まっているためであると考えてる。

複雑多様化する災害に対応



■ 災害対応特殊消防ポンプ自動車の購入に至った背景は。

（北部分署長）市北部地域には、住宅開発による人口増加に加え、高層マンションやホテル、大型店舗が建ち並び、年々交通量が増加する京奈和自動車道や第二京阪自動車道、新名神高速道路が通り、大住工業専用地域には大規模工場があり、複雑多様化している災害に対応するためである。

■土木費

■ 全体事業費に占める土木費の割合が低いが、もっと土木事業を増やすべきではないか。

（建設部副部長）三山木区画整理事業の完了や下水道事業の公営企業化により一時的に減少しているが、今後、田辺公園の拡張整備や都市計画道路大住草内線などの事業化を目指してさまざまな検討業務を進めている状況である。

■水道事業会計

■ 市民において水道料金が高いと言われることについての認識は。

（経営管理室担当課長）府内で最も安い水道料金であるにも関わらず、分担金が高いことで誤解が生じていると思われる。

教育も国際的に

■外国人成年招致事業

■ ALT（外国語指導助手）による授業が明るい雰囲気を感じるが市はどう認識しているか。また、どのような成果があるのか。

（こども・学校サポート室総括指導主事）英語が学べることや、日本人でないことの期待感やワクワク感があっていいのではないかと思われる。国際化という面に繋がっていると思う。

■公共交通対策事業

■ 市内バス5路線への負担金支出の事業効果は。

（計画交通課長）運行しているバスの利用者への移動手段の確保という直接的な効果のほかに、バス路線維持のため市が民間事業者に対し負担金を支出している現状を沿線地元区や自治会等へ周知することで公共交通維持の議論が活発化され、自らのこととして積極的に考えていただける副次的な効果も見られる。

■放置自転車対策事業

■ 放置自転車撤去に関して、目標台数より実績が大きく超えているが目標が低いのではないか。

（計画交通課長）ゼロ台を最大目標として実績を下げていきたいものであり、撤去箇所と回数を強化したため増大した。そのため実績が増大したが、良い結果とは思っていない。

自民一新会

将来を見越した
都市経営が重要

平成30年度までの決算は一般会計をはじめ総じて適切に処理され、歳入歳出はバランスし単年度収支は黒字。主要な財政分析でも健全化を保っている。しかし、人口減少が始まる10年先を見通した都市経営戦略が見られない。

一般会計の4割を占める民生費は今後大きく財政を圧迫する。上下水道などの公営企業会計は基金等を取り崩して収支バランスを保っているが、いつまでも続かない。これ以上問題の先送りではできない。今後において中学校給食やゴミ焼却施設整備など山積する懸案事業の推進には、国、府との連携のもとに、上村市長の強いリーダーシップにより積極的な行政運営が重要。

日本共産党
京田辺市議会議員団市民の負担増に
敏感になるべき

一世帯あたりの年間所得は依然、低迷する一方で、消費税増税や社会保障改悪等による負担増が続き、暮らしの不安は大きくなっている。本市では平成28年10月より粗大ごみ・持込ごみの有料化が導入された他、国保税も

引き上げられ、今後下水道料金の引き上げが計画されている。これらの市民の負担増に対し、市は敏感になり、それが本場に必要なのか、負担の程度は適切なのか、そして負担増に見合う効果はあるのか、丁寧に考え検証していくべきである。そして粗大ごみ有料化など効果の疑わしいものは廃止するなど、さまざまな負担増から市民の暮らしを守る市政を進めていくべきだ。

NEXT 京田辺

人口増加の時に
将来ビジョンを

平成30年度は公立幼稚園の全保育室への空調設置、認定こども園整備事業、積極的な保育士の採用、耐震貯水槽整備、中学校給食事業手法調査、空き家対策など新規事業拡充に取組まれたことは評価する。一方で上下水道

事業にあっては、将来にわたり持続可能な事業とする必要があり、財政面を考慮した経営の適正化が喫緊の課題である。また、異常気象等により増加する自然災害への備えが急務であり、災害発生時即時対応できる財政調整基金増額積み立ての必要性を指摘しておく。中学校給食や認定こども園化をはじめとする各種事業は、各部署一体となり知恵を出し合い取組まれたい。

京都南風の会・
日本維新の会クラブ各種広報媒体で
市の発信力強化

総合的には各種事業において適切な運営がなされていると判断・評価する。

市の広報業務に関しては、時勢を反映した情報発信を継続し行うことが求められる。変化の激しい情報発信プラットフォームの

潮流を見極めつつ、HPやツイッター等による受身の情報発信だけに留まらず、今後市民の声を聴きやすくする為の双方向通信にも対応していく必要がある。本市ではそれを見越して、既にLINEの公式アカウントを取得し適切な運営方針・ルール等の在り方を検討されているとのこと。

より一層市民の声を反映できる開かれた行政運営が成されることを期待したい。

公明党

まちづくりに向
け財源の確保を

防災広場の整備、複合型施設の整備、大住草内線の整備そして中学校給食早期実現など大きな課題が山積みである。今後中長期にわたる財政見直しや企業誘致、各種交付金の活用などの積極的な財源確保策が必要である。

令和元年から始まった幼児教育無償化を受け、待機児童対策の強化に加えて公立幼稚園の定員割れ問題には通園バス・給食の導入、習い事の実現などの早期対策をすべきである。

男女参画・女性活躍の視点から審議会や協議会に女性委員の登用を進めていただきたい。決算資料等の事業成果や目標の数字が分かりにくいので、しっかりと根拠に基づいた目標値を定めるべきである。

文教福祉常任委員会管外視察報告

11月6日に京都府ひきこもり訪問支援「チーム絆」として活動されている、宇治市にある「ほっこりスペースあい」において管外視察研修を実施しました。

また、11月13日には東京都多摩市で、翌14日に東京都世田谷区で管外視察研修を実施しました。



多摩市では、“健幸”まちづくり事業のなかの「スポーツ環境の整備」について、世田谷区では、世田谷区不登校対策アクションプランを策定し取組まれている「不登校対策」について、それぞれ研修しました。

総務常任委員会管外視察報告

11月11日に東京都中野区、翌12日には、東京都福生市において、視察研修を実施しました。

中野区では、性の多様性の観点から「同性パートナー制度」について、導入の背景、意義や制度実施の効果などを研修しました。

福生市では、防災広場の機能と給食機能を併せ持つ防災食育センターについて、防災広場の機能集約の観点から、常時・非常時それぞれの運用方法、予算面での課題等について研修しました。



常任委員会の審査報告

市議会は、12月16日に建設経済常任委員会、17日に総務常任委員会、そして18日に文教福祉常任委員会を開会し、定例会初日に付託された市長提出の議案6件と市民から提出された請願1件、3日目に付託された市長提出の議案2件について審査を行いました。

また、補正予算案3件について、それぞれ所管部分の審査を行いました。議案審査、補正予算審査の主な質疑は次のとおりです。文教福祉常任委員会が行った請願審査の内容は、6面に掲載しています。

議案審査

危険な土砂形成に行政指導

(左記、2議案は、一括議題による質疑・答弁です。)

■土採取事業規制に関する条例の全部改正

【賛成全員・可決】

近年の土砂等の採取行為による急斜面形成や土砂流出等に対する市民の危機意識の高まりを受け、生活環境の保全や土砂災害の防止の推進をさらに一層強固なものとするためのもの。

■土砂等による埋立等事業規制に関する条例の全部改正

【賛成全員・可決】

近年の建設残土等を用いた埋立て等の行為による土壌汚染や急斜面形成等に対する市民の危機意識の高まりなどを受け、生活環境の保全や土砂災害の防止の推進をさらに一層強固なものとするためのもの。

■ 現行条例に抵触している事業者はいるのか。

〔環境課長〕 現行条例で許可している事業者は、4件で抵触している事業者はない。

■ 過去に現場指導など条例改正に至る事例があったのか。また、その事例は条例改正で防げるのか。

〔環境課長〕 過去に3件現場指導を行っており、資材置き場に一時仮置きとしながら置き続けるといったような案件があった。条例改正により同様の事例であれば対応できると考える。

■ 罰則の適用もあるのか。

〔環境課長〕 行政指導として勧告、命令を行い、命令に従わなかった場合に命令違反となりの2年以下の懲役または100万円以下の罰金となる。

■ 分水嶺などの自然環境に配慮しているのか。

〔環境課長〕 生活環境の保全、土砂災害の防止を目的とする条例であるので、水害や土砂

災害につながるような事業は規制できると考える。

■ 罰則強化だけでなく事業者への環境指導等はどうに考えているのか。

〔経済環境部長〕 現行条例で

は土地所有者を対象にしか指導できなかったものを、直接行為者へ指導・監督していくことが改正の主な内容で、指導で効果が見られない場合は罰則を適用できるとしている。

■ 監視体制は、どのように行つか。

〔環境課長〕 パトロール員による監視である。

自転車駐車場指定管理者を指定



新田辺駅東自転車駐車場

■新田辺駅東自転車駐車場の指定管理者の指定

【賛成全員・可決】

新田辺駅東自転車駐車場の管理について、地方自治法第244条の2第3項の規定に基づき指定管理者の指定を行うもの。

■ 自転車駐車場など公共性の高い施設は市が直接運営管理すべきではないか。

〔計画交通課長〕 指定管理者選定委員会でも自転車駐車場の管理体制など、在り方自体も見直すべきとの意見もあったことから、2年間の指定期間の間にもう一度ゼロベースで見直していきたい。

■教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例の制定

【賛成多数・可決】

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定に基づき、教育に関する事務の一部を市長が管理執行することとするもの。

■組織条例の一部改正

【賛成多数・可決】

高度化・複雑化する市民ニーズ、社会経済情勢の変化等に的確かつ迅速に対応するため、より効率的かつ効果的に行政運営を行うべく、行政組織の一部を改正するもの。

■ 教育事務権限の移行において、これまで教育委員会

で所管してきたスポーツ関連等の事務を市長部局に移行させる意図や狙いは何か。

〔総務室担当課長〕 少子高齢化による人口減少などの社会課題、行政需要の拡大、高度化・複雑化する市民ニーズ、国の法制度などの改正、社会経済情勢の変化に的確・迅速に対応し、行政運営においてより効率的・効果的な行政組織が求められていること。また、行政組織内においても横断的な相互連携による取り組みがますます高まってきていることのほか、令和2年4月からの第4次総合計画等に掲げる施策を着実に推進するため、組織編成するものである。

■ 文化・スポーツ関連事務をこれまで進めてきた教育委員会としての意見は。

〔教育部長〕 最近の社会情勢は、文化財保護だけでなく、それを活用した地域振興が重要視されてきており、そもそも文化というものを考えたとき地域にお住まい人々の活動により育まれるものである。時代の趨勢により活発化している自主的市民活動や文化振興を今回の改正により一体的に後押しできるものとして非常に意義のあるものと捉えている。これまで教育委員会として文化振興を支援してきたが、さらに、改めてまちづくりと一体となる支援になるというのは非常に期待できるものである。

その他の議案

■道路線の認定

【賛成全員・可決】

宅地開発によって新設された道路及び認定基準見直しに伴い宅地開発により築造された転回広場を擁する道路について、道路法の規定に基づき路線の認定を行うもの。

■ 転回広場を擁する道路を認定することになった経緯は。

〔施設管理課長〕 生活道路舗装修繕計画における対象道路は認定道路のみであり、これまでは法定外道路として維持管理していたが、計画内に算

定し適正に維持管理するため市道認定基準(内規)を見直した。

■ 転回広場を擁する道路を認定することで地方交付税措置の算定は変わるのか。

〔施設管理課長〕 算定額は約200万円の増額となる見込みである。

■公民館の設置及び管理に関する条例の一部改正

【賛成全員・可決】

多々羅公民館の新築移転による所在地変更について所要の改正を行うもの。

■ 新築公民館は、広さやバリアフリー等、考慮されているのか。

〔中央公民館長〕 旧公民館より少し高い位置に建てられ一時避難所としても活用できる。敷地面積、延床面積も広くなり、バリアフリー化もされた。

■自転車等駐車場条例の一部改正

【賛成全員・可決】

消費税法等の一部改正により、消費税率等が引き上げられたことに伴い、自転車等駐車場条例に規定する自転車駐車場の利用に係る料金について改正するもの。

補正予算審査



いつものをいつのか。

〔ワールドマスターズゲームズ準備室長〕 交流型と順位決定型があり、トーナメント方式で1位、2位など順位を決定する方式が順位決定型である。

★ワールドマスターズゲームズ2021関西フレ大会開催事業補助金

■ 順位決定型とは、どう

■ 開催場所は、どのように想定しているのか。

〔ワールドマスターズゲームズ準備室長〕 チーム数にもよるが田辺中央体育館で1コート、府立山城総合運動公園体育館で2コート予定しており、勝利リーグは3コートで、決勝リーグは田辺中央体育館を予定している。

■ 計上額の使用用途は。

〔ワールドマスターズゲームズ準備室長〕 府立山城総合運動公園の使用料等のほか審判などゲーム運営委託費、シャトルバス運行経費などである。

★庁舎宿日直業務委託事業

■ なぜ宿日直業務を委託するのか。

〔管財情報課長〕 新規応募者数の減少や採用内定者の辞退など人員確保が困難な状況が続いており、任用職員の高齢化など慢性的に運用に支障が生じていることのほか、令和2年4月開始の会計年度任用職員制度による人件費の増額が懸念されることから、現採用方法と費用面と比較検討した結果、同等額で諸問題が解決されることから選択した。

補正予算(第3号)の会計別増額

★一般会計	6030万円
★国民健康保険特別会計	2160万円
★介護保険特別会計	4550万円

★個人番号カード利用促進整備費補助金

■ マイキーID登録に係る事業の詳細は、

〔市民部副部長〕 国が令和2年度に実施するマイナンバーカードを活用したポイント還元策である。目的の一つ目は東京オリンピック・パラリンピック後の消費落ち込み対策

二つ目は、マイナンバーカードの普及。三つ目は、キャッシュレス決済の促進である。ポイント利用のためにマイナンバーカード取得後、マイキーIDを設定して利用する。

★公園整備事業

■ 公園整備の根拠は、

〔緑のまちづくり室長〕 隣接地を整備し、公園を拡張する事業で地域コミュニティを図りたいとの地元要望によるもので、地元区から寄附もいただいている。

■ 今後の管理はどのようにするのか。

〔緑のまちづくり室長〕 街区公園という位置づけになるため、他の公園と同じように日常管理は、地元区にお願いすることになる。

★保育所管理費

■ 三山木保育所のトイレ改修の理由は、

〔健康福祉部長〕 南山保育所から3歳児を移し、三山木保育所の部屋を転用して利用する計画で、それに伴うトイレ改修である。

★田辺中学校仮設校舎整備事業

■ 事業の詳細は、

〔学校環境整備課長〕 生徒数の増加に対応するもので少人数授業の教室を増設するために、仮設校舎をクラブボックスに平行して建設する予定。仮設校舎建物敷地整備、地盤改良工事、電気給排水衛生工事、外構工事、渡り廊下等接続工事などである。

二つの特別会計は

★国民健康保険特別会計

■ 前年度繰越金が多額に計上された理由は、

〔国保医療課長〕 国保財政安定化支援事業交付金とそれに伴う一般会計からの法定繰入によるものである。

★介護保険特別会計

■ 高額介護サービス費が例年よりかなり多額になっているが理由は、

〔高齢介護課長〕 給付費3割負担の制度開始によって対象者の自己負担が増えることになり、給付額も増額となった。また、対象者に対して勧奨案内も強化したためである。

★中学校管理運営費

■ 修繕する受水槽は、どの程度の損傷か。

〔学校環境整備課長〕 大住中学校は、受水槽内のボルトナットの錆、高架水槽の電極保持器の腐食である。培良中学校は、高架水槽天板のひび割れなどである。

★東地区農地乾田化事業

■ 事業の詳細は、

〔農政課長〕 暗渠排水等を整備し、乾田化することで多品種を耕作したり、稲刈りの機械が使いやすくなるなど効率化・省力化にも繋がる事業である。

■ 事業規模を拡大するための補正予算か。

〔農政課長〕 全体規模として拡大するという点ではない。

請願審査



請願第1号

■京田辺市の子どもの健康と安全を守り、ゆきどごいした教育を求める請願

【賛成少数・不採択】

請願項目

①学校のトイレの洋式化、定期的な清掃を。
②避難所として使う学校の体育館の空調化の推進を。
③給食費や教材費を無償にするなど、保護者負担を軽減するため、市独自の財政措置を。

二つの特別会計は

★国民健康保険特別会計

■ 前年度繰越金が多額に計上された理由は、

〔国保医療課長〕 国保財政安定化支援事業交付金とそれに伴う一般会計からの法定繰入によるものである。

★介護保険特別会計

■ 高額介護サービス費が例年よりかなり多額になっているが理由は、

〔高齢介護課長〕 給付費3割負担の制度開始によって対象者の自己負担が増えることになり、給付額も増額となった。また、対象者に対して勧奨案内も強化したためである。

★中学校管理運営費

■ 修繕する受水槽は、どの程度の損傷か。

〔学校環境整備課長〕 大住中学校は、受水槽内のボルトナットの錆、高架水槽の電極保持器の腐食である。培良中学校は、高架水槽天板のひび割れなどである。

■ 事業規模を拡大するための補正予算か。

〔農政課長〕 全体規模として拡大するという点ではない。

市担当部局に対する質疑

■ 教材費はいくらか。

〔学校教育課長〕 学校と学年で多少差があるが、教材費と校外学習費を合わせて年間で1万2000円程度である。学校毎に副教材を選定しており、校外学習で行く場所も違う。

■ 学校間におけるトイレの洋式化の格差と今後の計画は、

〔学校環境整備課長〕 洋式トイレは、これまで校舎の各階に1カ所以上は設置している。それ以上は配管工事やトイレブースの拡張が必要となり、学校施設長寿命化計画における大規模改修の中でしていく。

■ トイレ清掃において、市は業者による清掃を行っていると言いが、現状はどうか。

〔参考人〕 桃園小学校に勤務している4年間で業者による清掃は一回だけであった。記憶の範囲では半年しない間に臭いがひどくなった気がする。業者による定期清掃も数年に1回と思われるので、1年に1回業者による清掃をしてもらえば、子どもたちが使いくらい状況は変わらと思う。

■ 洋式化率は、全体では8%低い学校で23%。校舎の新しい三山木小学校の洋式化率は

高い。
■ 清掃業者によるトイレの清掃は何年ごとになっているのか。

〔学校環境整備課長〕 業者と相談して3年ごとに尿石除去をしている。学校からの苦情は聞いていないが、臭気があるという点であれば対応していきたい。

■ 気温により学校の体育の授業が中止となる基準は、

〔学校環境整備課長〕 環境省

の授業が中止となる基準は、

の熱中症環境保健マニュアルを各学校に配付しており、その指針に基づいて適切に体育の授業が行われているものと考えている。

■ 体育館への空調設備設置の考えは、

〔学校環境整備課長〕 令和元年9月時点での全国公立・中学校の体育館への設置率は2.3%だが、環境の充実を図る観点では今後の検討課題である。

質疑を終えて委員間討議

請願項目① 小学校のトイレの臭いがひどいのは、事実経験したことがある。今の子どもたちは洋式トイレが日常化しているのに、臭い状況は変わらと思う。

を進めていくべき。
空調化は急いで対応してもらいたい気持ちもあるが、体育館の老朽化や災害時における蓄電設備なども併せて対応すべきで、財政面から考えると多額の費用がかかることから長寿命化を見据えて、早急に取組むより国の補助金活用も考慮しながら計画的に対応すべき。

請願項目③ 義務教育における教育の無償化というものは、もっと真摯に受け止めていかなければならない。給食も教育の一環として平等な教育の観点から無償にすべき。

給食費・教材費にとらわれず、保護者の費用負担を軽減する措置は今でもとっているということであり、財政面など公平に検討する中で判断すべきである。

請願項目② 体育館の空調の件について、市において熱中症に対する危機感がないので、このような請願をあげていくべき。

体育館は避難所としても使われるのであるから、空調化

帯には、国の基準より上乗せして補助されているので、現段階では賛同しかねる。



市のオリンピック聖火リレーコース



久保 典彦 議員
(自民・新会)

副市長不在について

答 鋭意取組んでいく



※一般質問とは議員個人が行財政状況や今後の方針などを市に問うものです。質問を行った順に、各議員から提出された要約原稿にもとづいて掲載しています。



録画配信でチェック！

市議会ホームページから、スマートフォンでも視聴できます。

京田辺市議会 インターネット中継



■ 令和元年7月に前副市長が退任され、現在まで約5カ月間、副市長が不在となっている。副市長不在が長引くと、市民サービス低下といった事態を引き起こす。これまでの副市長不在の影響をどのように捉えているのか。また、早急な副市長擁立が必要と考えるが、市長の考えは。

〔市長〕 副市長が役職を務めていた委員会等については、幹部職員が代理を務めるなど、職員一丸となり極力影響が出ないよう努めている。また、第4次総合計画のスタートを見据え、そのスタートの状況に合わせて、しっかりとトップマネジメントが確立できるような体制をとっていく。

■ 中学校給食の開始時期を明確にするべきだと考える

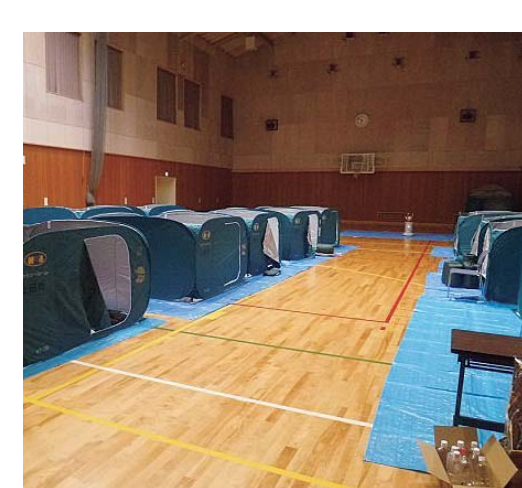
〔教育部長〕 今回のオリンピックに本市出身の選手が出場するということになれば、当然いろんな方法を考えて、市を挙げて応援をしたい。



増富 理津子 議員
(共産党)

プライバシー確保の改善を

答 テント導入も検討していく



長野県上田市の避難所



向川 弘 議員
(公明党)

急発進防止装置費用補助を

答 国の補助金検討動向を注視



高齢者ドライバーが運転する自動車

■ 高齢者を在宅で介護している家族のための支援を。また、24時間対応のサービス提供の見通しは。

〔健康福祉部長〕 地域包括支援センターを中心に介護、看護、リハビリなどの専門職と区・自治会を含めたネットワークの構築を図っている。24時間対応の事業所は京田辺市にはなく、近隣市町の事業所サービスを受けている状況。

■ 認知症対策で、万一の事故やトラブルで本人や家族が賠償責任を問われる事態に備えて、民間の個人賠償責任保険による補償を導入する自治体が増えている。市での導入の考えは。

〔健康福祉部長〕 保険については課題であると認識しているが今は、まだそこまで取る組みには至っていない。

■ 被災地の避難所にプライバシーが確保できるワンタッチ式のテントが導入されている。家族単位で活用されているようで、清掃して小さく折りたたみ収納でき、リュウースが可能。市でも導入の検討を。

〔安心まちづくり室長〕 更衣や授乳など一部テントを利用してプライバシーの確保をしている。テントの導入も検討していく余地がある。

■ 校内に不登校の子どもが安心して過ごせる居場所の設置と教職員の配置を。

〔教育部長〕 登校しても教室に入ることが困難な児童生徒には相談室や保健室、図書室等を活用し、教務主任や養護教員を中心に対応している。

■ 高齢者ドライバーのアクセルとブレーキの踏み違いによる大事故が発生した。国の政策を待つまでもなく、本市で急発進防止装置を後付けする補助金制度を実施せよ。

〔健康福祉部長〕 補助金制度は、現在、国で取り付け費用の一部補助が検討されている。動向を注視していきたい。

〔市長〕 お互いが安全安心に向け自発的に取組まれることは非常に素晴らしい。どのような形が本市として考え得るか研究したい。

■ 振り込め詐欺は家庭の電話機にかかってきた電話を受けて被害に遭っている。対策として事前警告機能付録音装置や詐欺対策電話機の貸与や購入補助を実施すべきである。後付けできる装置もある。

〔経済環境部長〕 被害防止のため市消費生活センターでの相談、ポップアップシート配布、街頭啓発等を展開した。防犯機能付電話機への買い替えに対し購入者へ2000円の割引補助が行われている。

■ 死亡時の手続をワンストップで行う専用の窓口を実施する計画はあるか。高齢化を踏まえ書類の文字の大型化と括弧理、さらに全ての説明を行う予約制を実施すべき。

〔市民部長〕 ワンストップサービスや書類の一括処理は考えていない。死亡届提出時に配布している手続き内容と担当課を記した書類は、他市の例を参考に、見やすいものにできないか検討したい。予約についてはやっていると一度聞いてみたい。

用語の解説

分水嶺 (5面2段目)

異なる水系の境界線を示す地理用語。分水山脈のこと。

マイキーID登録 (6面1段目)

マイナンバーカードのICチップの中の電子証明書を活用してウェブ上のマイキープラットフォームで設定されるIDを、本人認証するために登録すること。

ポップアップシート (7面左8段目)

絵やイラストが飛び出す仕掛けになっているシートのこと。

フレイル対策 (10面左8段目)

フレイルとは、加齢とともに心身の活力が低下した「虚弱」な状態を指し、それを改善するための対処対策。

障害者インクルーシブ防災 (11面右3段目)

障がい者を含むあらゆる人の命を支えようという防災の考え方。



同志社山手から見た府所有地

企業支援や誘致については

答 企業支援の継続と誘致促進

片岡 勉 議員
(無会派)

中小企業・創業の支援は、重点的に要望している。

〔経済環境部長〕 中小企業支援・創業支援の取り組みについて、新たな事業に取組む起業家支援拠点のDiegは、産業支援の拠点でもあり、引き続き一貫した支援を続けていきたい。

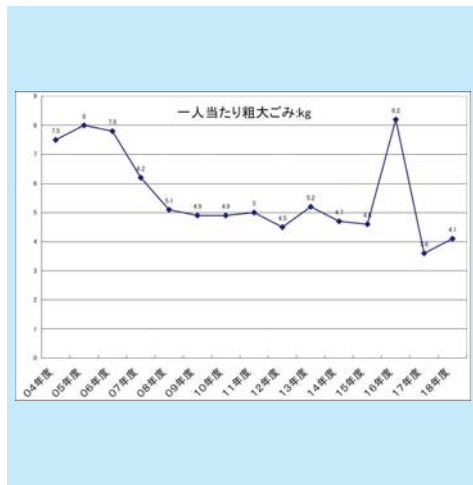
〔経済環境部長〕 企業誘致は財源確保や雇用拡大の面から重要であることから、関係機関と連携し、企業の誘致活動を着実に進めていく。府有地の活用については、南田辺西地区において、南田辺東地区も含めた早期事業化と地域振興、経済発展につながる施設の誘致について、市長みずから府知事に直接面談を行う中

で、重点的に要望している。

〔経済環境部長〕 工場整備は、営業条件が格段に向上するほか、担い手への農地集約や新たな担い手の誘導も期待されることから、地域の状況に応じて進めており、農振農用地全体の29%の区域で、工場整備事業が完了している。

〔経済環境部長〕 他の特産品と並び、本市の特産品であるエビイモ栽培の省力化への支援強化に向け、関係機関と一層の連携を図っていきたい。

〔経済環境部長〕 本事業については、良質米の生産、出荷を奨励するものであり、今後とも継続していききたい。



一人当たり粗大ごみ排出量の推移

総務省は下水道事業を独立採算制にし、一般会計からの繰入も国の基準内とする通知を出した。市はこれに従い下水道事業を公企業会計化し、平成30年度より一般会計からの繰入をほぼ半減させ、下水道料金を1.4倍に引き上げようとしている。国の言いなりでなく市独自の繰入を続け、料金引き上げの中止を。

〔公営企業管理者職務代理者〕 計画的な経営基盤強化等のため公企業会計を適用し、安定的に事業提供していく計画を、上下水道事業経営審議会で審議いただいている。

〔下水道への一般会計からの繰入の主な財源の一つは都市計画税収であり、その繰入を減らして下水道料金を値上げするなら、少なくともそ

れに見合う都市計画税を引き下げるべき。

〔総務部長〕 引き続きまたまた都市計画事業があり、今の段階で下げる状況にない。

〔粗大ごみ・持込ごみ有料化以前から市民はごみ減量に努力しており、有料化でごみ減量が推進したとは言えない。有料化は廃止すべき。〕

〔経済環境部長〕 有料化は負担の公平性と受益者負担の観点から実施しており廃止は考えていない。

〔戦没者遺族の手記等も含めて、第2集目となる市民の戦争体験手記集の発行を。〕

〔市長〕 平和都市推進協議会で議論いただきたい。「語り継ぐ戦争の体験」を電子データ化しており、多くの方に知っていただくことが大切。



三山木保育所

保育所・幼稚園について

答 保育所調整中・幼稚園可

上田 毅 議員
(南風・維新)

保育所について。平成29年と記憶するが、待機児童が発生し、市民には非常に迷惑をかけた形となった。無償化に伴い令和2年度の年齢別入所可能人数、入所申込状況及び受け入れ態勢は、①幼稚園も同様に問う。

〔健康福祉部長〕 ②最終的に全員の方を受け入れられるよう調整中。

〔教育部長〕 ④希望の園に入っていたら。

〔購買物弱者対策について〕 他市の事業を参考に実行すべき。米原市はコミュニティタクシー運行として3700万円の補助金。泉南市はコミュニティバス運行5255万円の補助金。香芝市はデマンド交通4224万円を委託。高齢者や弱者対策として「手

伝い隊」「見守り隊」の活動を拡大していくべき。

〔健康福祉部長〕 他団体の取り組みも参考に引き続き検討。

〔小中学校のいじめについて問う〕 全国の小中学校が30年度に認知した、いじめ件数は54万3933件あり、過去最高を更新。重大事態が前年度より128件増しの過去最多。自殺者数も332人で82人増加そのうち9人は、いじめが原因。本市の対応は。

〔教育長〕 生徒に寄り添い学校に指導・助言対応していく。

〔不登校問題について問う〕 小学校不登校は29年22人、30年31人と9人増。中学校は30年53人と減だが、そのうちいじめによる不登校は。

〔教育部長〕 いじめを原因とした不登校はない。

ゾーン30広報チラシ
(警視庁ホームページより)

市政協力員制度が令和元年度で廃止されるが、今後の取り組みについて問う。

〔市長〕 現行の自治振興費を拡充する中で、区・自治会の運営強化を図ると共に、複数の区・自治会が連携して、地域の課題を解決する仕組みを構築し、参画と協働のまちづくりを推進したい。

〔区・自治会が連携して地域単位の運営強化を進める中で、市と地域をつなぐ地域担当の市職員を配置しては。〕

〔市民部長〕 そこまでの具体的な計画は持っていないが、福祉や防犯、防災などテーマごとの話し合いの際には関係職員の参加も考えられる。

〔それぞれの地域では課題等も異なる。バスだけでなく総合的な交通政策は本市と

して今後どのように取り組むのか。

〔建設部長〕 総合計画等に掲げる将来都市像実現に向け、各地域からの通勤、通学を始め人々が安全で快適に移動する施策推進のため、2年度には新たな組織を立ち上げる。

〔通学児童や交通弱者の交通安全対策において、道路へのグリーンのペイントやガードレール設置など個別の対策は手段ではない。地域と協議して総合的な安全対策を講ずることが重要。そのためゾーン30等の政策を推進するべき。〕

〔建設部長〕 定められた基準でゾーン設定することになり、交通規制なども伴うことから、地域で十分協議され、地域要望に基づき対応したい。



一休寺

市の観光と農業振興を問う
答 関係団体と連携し進める

榎本 昂輔 議員
(自民 一新会)

市 市の具体的な観光ビジョンとは。
市 地域協働型の本市観光の魅力を発信し続けていく。
市 新地内の山手幹線沿いに一休寺と隣接して道の駅を計画するなど、観光の活性化につながる施策が必要であるが、市の考えは。
市 道の駅などの施設は、地域経済活性化の有効な施策の一つと認識している。一休寺周辺の土地の多くが農業用地になっており課題が多いが、農業者やJA、関係団体と連携して研究を進める。
市 農家が安定して販売でき、収益を確保するための行政管轄の販売所等、農家の販路拡大施策について、本市の施策を問う。
市 市の農産物



学校図書館
(田辺中学校)

1校1名の学校司書配置を
答 図書館の活用を推進する

岡本 亮一 議員
(共産党)

市 市内中小業者からは、景気回復の実感はないと聞くが、その認識は。
市 今後、商工会等や関係団体等と関係を密にして、必要なものについては対策を講じる。
市 市内の地域経済振興と住環境改善を目的とする「住宅リフォーム助成制度」の実施を求める。
市 個人の財産を高め、住宅が高値で売買をされる可能性もあるため、直ちに実施する考えはない。
市 本市では、小学校9校・中学校3校、計12小中学校に4名の司書が配置されている。1名の司書が3つの学校を受け持ち、3週間で一巡しているが、子どもの読書環境の更なる改善を図るために、1校1名の学校司書の配置を求める。
市 今後、学校教育の中で、特に図書教育や、図書館の活用を推進していきたい。
市 動物愛護法に基づき、適正に野良猫を減少させるためにも、他の自治体で効果をあげている避妊・去勢手術費用の助成制度の設置を求める。
市 地域住民による有効な地域猫活動が成熟していない中、補助制度だけが先行しても問題の解決にはつながりにくい。また、特定の個人に対する補助となることが多く、個人の飼育頭数が増えることにもつながる可能性があるため、現在のところは考えていない。



希少種のオオタカ

ごみ処理広域化の見直しを
答 安全性を確保しつつ進める

次田 典子 議員
(無会派)

市 オオタカの保護を理由に、枚方市と共同方式で計画しているごみ処理場の稼働時期が2年延びた。これにより、現施設の保守に多くの費用が発生する。府のハザードマップでも危険箇所であり、風向はほとんど本市向きとされる。市の水源でもある。枚方市東部清掃工場建設後、安全性は検証されたのか。計画を根本的に見直すべきだ。
市 甘南備園の建て替えという前提から進められている計画なので、ベターな選択としてこれからも進める。
市 市内路線バスの改善について、運転手不足にバス会社も苦悩している。市民もバスの減便で困っているが、市の方針を立てて取組むべきだ。市民に補助するなりして乗客を増やし、路線や便数を確保する手立てをとれないのか。
市 バス路線維持の取り組みを今後も続けていく。
市 京都市の夜間中学に府内在住者が入学出来るようになった。在勤に限られるが啓発・広報し、通学費補助などの手立てもって、就学希望者の支援をしてほしい。
市 市の広報にルビ打ちも含めた掲載を検討する。
市 在勤というハードルを外すことを京都市に要望するとともに、府域での夜間中学設置に向け、市は自主的に動いてほしい。
市 府教委へも要望してきたが、各教育協議会でも意見交流を行っている。
市 教育委員会の判断も尊重しながら進めていく。



捕獲されたイノシシ

捕獲イノシシ処分対策を
答 広域的対応含めて研究する

南部 登志子 議員
(無会派)

市 普賢寺小学校。⑦特認校だが、地域外の児童数が地元児童数を上回る状態が4年連続している。今後の方針は、①普賢寺幼稚園から特認校制度の普賢寺小学校に入学する児童が一定数いる。幼小連携として進めていく考えは。②平成31年度より天王の児童もスクールバス通学になった。一方、多々羅地域の児童は全額自己負担でのバス通学。スクールバスの運行もしくはバス費用の負担を求める。
市 ⑦の適正に実施できる人数の範囲内で受け入れる。①市内で統一的に取組んでいく。②多々羅地域から学校までの距離が4キロに満たないため、スクールバスもバスの補助も考えていない。
市 捕獲されたイノシシは現場で埋めるよう市から指導されているが、野生のイノシシがそれを掘り起し食しているため、悪臭を放つなど環境が悪化している。改善策を。
市 市のごみ処理場では受け入れ困難。広域的な対応も含めて研究する。
市 在住外国人に対する納税通知や検診などの重要書類、国保制度のリーフレットなどに英語表記を。また、急増するベトナム人に対しては、生活や医療面でベトナム語対応ができるよう準備を。
市 書類の英語表記は困難だが、重要書類とわかる工夫について研究する。英語表記の国保リーフレットについては作成を検討する。
市 上げた議員報酬下げよ。
市 前議会で議決。



非常用電源になるV2H車両イメージ図

菊川 和滋 議員
(NEXT京田辺)

他市災害教訓に備えを急げ

答 昨今の災害参考に検討する



小学校プログラミング教育の手引

秋月 健輔 議員
(南風・維新)

パソコン苦手な若者増加

答 非パッド型のパソコン導入

近年ICT機器の普及に伴って、パソコンとモバイル機器の市場が一つになって情報消費者向けに端末が特化していったため、パソコンに対しての素養が無い若者が増えてしまっている。創造的な能力を持った人材育成の為に、生徒たちにパソコンを利用した課題を日常的に与える等して、普及・促進を促す必要があると考える。本市における現状と認識は、

(教育部長) パソコンと同様の可搬性の高い情報端末機器を導入予定。スマホ的な利用に特化した指導はしない。

長時間停電への備えとして公用車のEV化推進と簡易蓄電池の備え付けを。また新浄水場浸水対策への備えを急ぐ必要がある。

(総務部長) EV・簡易蓄電池については検討していく。

(公営企業管理者職務代理者) 停電時対策として非常用自家発電設備を令和2年度工事予定。全体の浸水対策は現在検討中。

農業人口減少の中、本市のため池の安全対策について現状と課題は、

(経済環境部長) 農業用ため池の護岸改修工事完了。台風等襲来前には職員が巡回する。防災重点ため池は、順次ハザードマップ作成中である。

ボランティアによる子ども安全見守りの方々の高齢化が心配。対策強化をすべき。

(教育部長) 人材確保に苦慮しており、今後も広報等の活用で関心を高めていく。シルバー人材センターの安全整理員については、予算に縛られず対応する。

各種の計画を加味し、財政の平準化と副次拠点である北部・南部に市民サービス向上に向けた取り組みを。

(理事) 民間施設の活用も含め、市民サービス向上が図れるようまちづくりを進める。

JR松井山手駅舎トイレ等のユニバーサルデザイン化と改札口の増設及び始発・終電を京田辺駅発着となるようJRへ要望すべき。

(経済環境部長) 駅舎改修は全駅で要望する。始発・終電対応は実現困難な状況にある。

問での連絡、先生への課題の提出方法や手段等の選択を生徒自身に自発的に判断させることで、情報活用の感性を磨くことが重要であると考え、まもなく始まるプログラミング教育に関して現状の進捗状況は、

(教育部長) 本市では従来から、児童・生徒の学習意欲を高めたり、情報活用力を一層高めるために、WiFi環境、電子黒板の設置、可搬性の高い情報端末等のICT環境の整備に努めている。国が示す子どもが主体的に学ぶための情報活用能力の育成を図る指導法の確立が必要。



中学校の女子の制服

河田 美穂 議員
(公明党)

制服を性別関係なく選定を

答 協議を積極的に進めていく



プレーパーク公園で遊ぶ児童
(東京都世田谷区)

河本 隆志 議員
(NEXT京田辺)

中学校特認校 再編特区は

答 考えていくべき必要は認識

当初予算編成において、どのように新たなカラーを打ち出そうと考えているのか。

(市長) 機構改革、参画と入のつながりによる次世代をつくる予算編成にしたい。

小・中学校の学校施設適正化に向けての施策展開は、

(教育部長) 児童・生徒の教育条件改善の観点から、必要性を認識している。

中学校において、特認校制度、再編特区など新たな考え方についての見解は、

(教育部長) 従来の校区が絶対不変とは考えていない。将来的な人口動向も踏まえ、再編を含めて考えていくべき必要は認識しているが、現時点で表明できる段階ではない。

校区に関係なく通学できる特認校制度もあり、本市の置か

公立中学校の制服を防寒対策のためにも性別に関係なく選べるようにすべき。

(教育部長) 導入に向け広く意見を求め、校長会等での協議を積極的に進めていく。

登下校時などのGPSアプリでの子ども見守りサービスの導入をすべき。

(教育部長) 他市の導入状況や見守りサービスの活用事例などを調査・研究する。

災害備蓄に液体ミルクの導入をすべき。

(危機管理監) 訓練や出前講座を通じ、周知を図っていく。

防災士の拡充推進、他自治会の先進事例の紹介、マイ・タイムラインの導入など防災講座の充実を。

(危機管理監) 防災士の資格取得については区・自治会へ

の拡充を含めた検討をする。

今後、区・自治会の最新事例の紹介やマイ・タイムラインの重要性、また体験型の講座など防災意識向上に取り組む。

移動式を含め「赤ちゃんの駅」の導入を。

(健康福祉部長) 赤ちゃんの駅の設置は公共施設大規模改修の際に導入を検討する。移動式赤ちゃんの駅貸し出し事業は実施可能な方法について検討していきたい。

高齢者のフレイル対策をどのように進めていくのか。

(市長) 介護予防の大きな柱として、歩いて通える地区公民館を中心に住民主体の身近な居場所づくりを推進している。今後、市全体の高齢者に参加いただけるよう、実施していない自治会に推進する。

れている状況で検討していかなければならない。

子育て支援計画にプレーパーク事業を位置づけて、公園整備を進めては、

(健康福祉部長) 具体的な検討は行っていないが、田辺公園の方で健康福祉部と一緒に企画段階から入り、子どもが自由に使える部分を少しでも入れていければと思う。

地方創生応援税制(企業版ふるさと納税)を活用し企業から寄附を受ける場合の地域再生計画を作成すべき。

(理事) 第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定を進めており、国が延長と拡充を検討していることから、地方創生に関する新たな取り組みを進めるに当たり、活用を検討していきたい。

12月定例会の議決結果

★全議員が賛成して可決等したもの

議案番号	議案名
諮問第2号	人権擁護委員の推薦に関し議会の意見を求めることについて
同意第18号	自治功労者の推薦について
同意第19号	自治功労者の推薦について
同意第20号	自治功労者の推薦について
認定第2号	平成30年度 松井財産区特別会計 歳入歳出決算認定について
認定第4号	平成30年度 休日応急診療所特別会計 歳入歳出決算認定について
議案第52号	平成30年度 農業集落排水事業会計未処分利益剰余金の処分及び決算認定について
議案第53号	土採取事業規制に関する条例の全部改正について
議案第54号	土砂等による埋立等事業規制に関する条例の全部改正について
議案第56号	市立公民館の設置及び管理に関する条例の一部改正について
議案第57号	新田辺駅東自転車駐車場の指定管理者の指定について
議案第60号	令和元年度 国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
議案第61号	令和元年度 介護保険特別会計補正予算(第2号)
議案第65号	職員の給与に関する条例の一部改正について
意見書第7号	関西電力の金品受領問題の全容解明を求める意見書
意見書第8号	高齢者の安全運転支援と移動手段の確保を求める意見書

★議員ごとに賛成と反対が分かれたもの

議案番号	議案名	結果	自民一新会										NEXT京田辺		日本共産党京田辺市議会議員団		公明党		京田辺市議会議員団		会派に属さない議員	
			松村博司	榎本昂輔	岡嶋一晃	久保典彦	田原延行	橋本善之	河本隆志	菊川和滋	長田和也	青木綱次郎	岡本亮一	増富理津子	河田美穂	向川弘	秋月健輔	上田毅	片岡勉	次田典子	南部登志子	吉高裕佳子
認定第1号	平成30年度 一般会計 歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○
認定第3号	平成30年度 国民健康保険特別会計 歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○
認定第5号	平成30年度 介護保険特別会計 歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第6号	平成30年度 後期高齢者医療特別会計 歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第7号	平成30年度 水道事業会計 決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○
議案第46号	第4次総合計画の基本構想を定めることについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×
議案第51号	平成30年度 公共下水道事業会計未処分利益剰余金の処分及び決算認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○
議案第55号	自転車等駐車場条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	欠	×	欠	○	○	○	○	×	○	○
議案第58号	道路線の認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	欠	×	欠	○	○	○	○	×	○	×
議案第59号	令和元年度 一般会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	欠	×	欠	○	○	○	○	○	×	×
議案第62号	教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	欠	×	欠	○	○	○	○	×	×	×
議案第63号	組織条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	欠	×	欠	○	○	○	○	×	×	×
議案第64号	市議会の議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	欠	×	欠	○	○	○	○	×	×	○
議案第66号	令和元年度 一般会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	欠	○	○	○	○	×	×	○
請願第1号	京田辺市子どもたちの健康と安全を守り、ゆきとどいた教育を求める請願	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	欠	○	欠	×	×	×	×	○	×	○
意見書第9号	首相主催の「桜を見る会」に関する疑惑の徹底解明を求める意見書	否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	欠	○	欠	×	×	×	×	○	○	○
意見書第10号	加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の創設を求める意見書	否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	欠	○	欠	×	×	×	×	○	○	○

※ 賛成の場合「○」、反対の場合「×」、欠席の場合「欠」で表しています。

本会議や委員会を傍聴しませんか

市役所へおいでの際は、ぜひお立ち寄りください。

本会議は、インターネットでもご覧いただけます。

京田辺市議会 インターネット中継 で検索！

3月定例会の予定

日 程	会議内容
2月19日(水) 13時30分～	本会議(開会・施政方針等)
2月28日(金) 10時00分～	本会議(代表質問)
3月3日(火) 10時00分～	本会議(一般質問)
3月4日(水) 10時00分～	本会議(一般質問)
3月5日(木) 10時00分～	本会議(一般質問)
3月6日(金) 10時00分～	建設経済常任委員会
3月9日(月) 10時00分～	総務常任委員会
3月10日(火) 10時00分～	文教福祉常任委員会
3月11日(水) 10時00分～	予算特別委員会
3月12日(木) 10時00分～	予算特別委員会
3月16日(月) 10時00分～	予算特別委員会
3月18日(水) 13時30分～	予算特別委員会
3月27日(金) 13時30分～	本会議(閉会・採決等)

議会運営委員会

2月12日(水)、17日(月)、3月23日(月)、25日(水)

いずれも13時30分～(ただし、2月17日は10時～)

※ 会議の開催日や開催時間などは、変更する場合があります。

※ 常任委員会では、開会後に休憩して現地調査を行う場合があります。

市議会だよりに対するご意見、ご感想をお寄せください。

(電話) 0774-64-1380 (FAX) 0774-63-4782
(メールアドレス) gikai@city.kyotanabe.lg.jp

あなたと話したい

第14回



Q. いつから、どこで活動をしていますか？

・観光大使の「キララちゃん」の誕生日(平成21年3月28日)の1年後(22年3月)に誕生祭として「キララ2時間 ISU 耐久レース」(略して: キララ2I耐→キララに会いたい)を開催したのが始まり。商店街の活性化のために多くの人に関心を持ってもらえる発信がしたかったんです。

Q. どんなイベントをされていますか？

・日本各地や海外から開催要望があり、年間を通じて数十カ所でレースを開催。台湾、中国、シンガポール、マレーシアでも開催。1チーム3人で行われ、椅子が壊れる前に心が折れそうになる見た目より過酷な2時間耐久レース。優勝品の京田辺の米90キロも嬉しいですが、完走の喜びはとっても大きいんですよ。最終戦では全国各地の強豪チームが競います。

Q. 今後の活動目標は？

・「いす1ーグランプリ」を通して、地域の子ども達が生まれたまちに自慢と誇りを持てるよう、そして未来に誇れる商店街を目指していきたい。海外展開も更に進めモナコ GPを開催するのが夢です。

ヨーロッパ発祥の自動車レース最高峰といえばF1(エフワン)ですが、本市には事務用の椅子を使ったレース「いす1ーグランプリ」があります。
平成30年度は、京田辺市キララ商店街でレースが誕生して10周年。今では日本各地や海外でも開催され、3月末に聖地である京田辺市で最終戦が行われます。創設から中心的な活動をされてこられた代表・田原剛さんにお話を伺いました。

一般社団法人「日本事務いすレース協会」



Q. 市議会に期待することは？

- ・地域の人々がまちに関心を持ってもらえるようにフォローして欲しい。
- ・新田辺駅東側のキララ商店街の再開発に取り組んで欲しい。

あとがき

私たち広報委員会では、日々市民の皆さまに議会を身近に感じてもらうべく、紙面作りの研究・研さんにつとめております。

令和2年1月に滋賀県甲賀市の市議会だよりを研究するため、現地視察に行きました。

各委員が日頃から感じているさまざまな疑問点の解消・課題意識の発見に役立つ有意義な研修になり、各委員万全を期して取り組んでおります。

(秋 月)

広報編集特別委員会
委員長 増富理津子
委員長 長田和也
委員長 秋月健輔
委員長 榎本昂輔
委員長 向川弘